

**製品名: AR- $\alpha$ 1D ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07192**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:10000-1:20000

分子量

**抗原情報**

遺伝子名	ADRA1D
別名	ADRA1D; ADRA1A; Alpha-1D adrenergic receptor; Alpha-1A adrenergic receptor; Alpha-1D adrenoreceptor; Alpha-1D adrenoceptor; Alpha-adrenergic receptor 1a
遺伝子 ID	146.0
SwissProt ID	P25100
免疫原	抗血清はヒト ADRA1D 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 451-500

**背景**

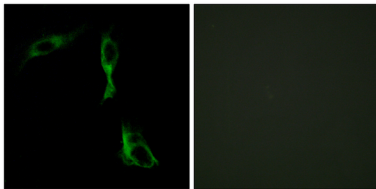
$\alpha$ 1 アドレナリン受容体 ( $\alpha$ 1AR) は、G タンパク質共役受容体スーパーファミリーのメンバーです。細胞分裂促進反応を活性化し、

多くの細胞の増殖と成長を制御します。α1ARには、α1A、α1B、α1Dの3つのサブタイプがあり、いずれもGタンパク質のGq/11ファミリーを介してシグナル伝達を行い、サブタイプによって活性化パターンが異なります。この遺伝子はα1Dアドレナリン受容体をコードします。α1Bアドレナリン受容体遺伝子と同様に、この遺伝子は2つのエクソンと、コード領域を分断する1つのイントロンで構成されています。[RefSeq提供、2008年7月],機能: このαアドレナリン受容体は、細胞外カルシウムの流入を介してその作用を媒介します。類似性: Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属します。,

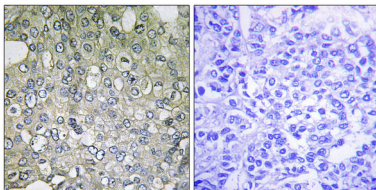
## 研究分野

カルシウム;神経活性リガンド-受容体相互作用;血管平滑筋収縮;

## 画像データ



ADRA1D抗体を用いたHeLa細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。



ADRA1D抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした状態。